

# 平成31年度 学校経営計画

平成31年4月1日  
練馬区立豊溪中学校  
校長 日下石直美

## 1. 教育目標達成に向けて

教育公務員としての使命を自覚し、憲法、教育基本法及びその他関連法規を遵守し、生徒・保護者・地域の願いに傾注し、本校の教育目標達成のために日々努力する。

### 教育目標

教育基本法の精神に則り、東京都並びに練馬区教育委員会の教育目標をふまえ、次のような生徒像を目標として、その育成に努める。

健康で心豊か、そしてよく学ぶ人

## 2. めざす学校像

「歌声が響き、心の通う挨拶と笑顔が行き交う、夢の膨らむ豊溪中学校」

## 3. めざす生徒像

- ①自他共に生命・人権を尊重する生徒。
- ②心身共に健康で、自らを鍛え、主体的に行動する生徒。
- ③夢を抱き、たくましく生きる生徒。
- ④思いやりを持ち、互いに励まし合う生徒。
- ⑤豊かな感性を育み、素直で前向きな考えが出来る生徒。
- ⑥ボランティア精神に富み、自ら進んで奉仕する生徒。
- ⑦自主自律の意識を持ち、成長する生徒。

## 4. めざす教師像『生徒にとって最高の教育環境は、教師自身である』

- ①自他共に生命・人権を尊重する教師。
- ②常に指導力向上をめざす教師（集団）。
- ③基礎学力の定着を図り、学びのすすみを推進し、「生きる力」をはぐくむ教師。
- ④生徒の心の琴線に触れながら指導ができる教師。
- ⑤研ぎ澄まされた感性を持ち、夢を持たせる教師。
- ⑥安心・安全な学校作りと教育環境の美化に努める教師。
- ⑦あらゆる教育活動を通して、心・技・体を鍛える教師。
- ⑧服務規律を遵守し、生徒・保護者・地域・同僚から信頼される教師。
- ⑨地域行事に積極的に関わる教師。

## 5. 平成31年度 豊溪中学校 重点課題プログラム

### (1) 生徒指導

- ①人権教育 ②道徳教育 ③健全育成 ④学力・体力の向上
- ⑤オリンピック・パラリンピック教育（第2回ボッチャ教室実施）
- ⑥防災教育・安全教育
- ⑦国際理解教育（第2回TGGプログラム全学年参加）
- ⑧英検（3級3年6割取得）、各種検定を推奨しキャリアアップを指導

### (2) 学校の創造

- ①魅力ある開かれた学校 ②安全教育 ③学校支援地域連携推進校の実践
- ④豊溪中学校への進学者を増やす

### (3) 研究推進

- ①小中一貫連携教育の実践と発表 ②自らの専門性を高める研修
- ③主体的・対話的で深い学び（思考力・判断力・表現力）を意識した授業
- ④学級経営力の向上 ⑤特別支援教育 ⑥特別な教科 道徳

## 6. 学校評価をふまえた取り組み

### (1) 学力向上

- ①「指導の工夫・改善」は、基礎基本が身についたかどうかのフィードバックが大切である。授業内での確認と放課後支援の指導体制作り。
- ②「朝読書・朝学習」は、図書室の整備と利用促進を学校体制で進める。各教科との連携推進。
- ③「ICT教育の研修」について、効果的な指導方法の研修を行う。

### (2) 健全育成

- ①どの生徒へも声かけや共通の指導を行う。
- ②教育相談部会を定期開催し、情報の共有を徹底する。
- ③教師と生徒、保護者との信頼関係の構築に努める。

### (3) キャリア教育の推進

- ①関係機関との取り組みを充実させ広報する。
- ②保護者や地域の参観を増やす。感想や意見に傾注し、工夫・改善を目指す。

### (4) 魅力ある開かれた学校の推進

- ①学校支援コーディネーターとの連携から地域人材を活用した取り組み。
- ②学校だよりの発行。ホームページの更新と内容の充実。
- ③学校行事、学年の取り組み等の案内を連携校以外の近隣小学校にも配布。

### (5) 安全教育

- ①安全教育プログラムや関係機関と連携し、危機管理意識を常にもった指導。
- ②練馬区地震対策の手引きを使った安全指導、訓練の実施。
- ③避難拠点運営委員と連携した避難所開設・運営の訓練実施。

### (6) 小中一貫連携教育の実践、指導の深化を図る。

- ①テーマにそった実践を連携して進める。
- ②各教科、各領域の指導に取り組む。
- ③選ばれる中学校を目指した連携。

7. 短期・中期・長期的方策と実施時期

| <input type="checkbox"/> 学力向上<br>★充実した教育活動計画と実施<br>★教師がねらいを意識した授業<br>「主体的・対話的で深い学び」   | 期日／期間   | 方法等  |
|---|---|--|
| (1) 基礎的・基本的な学力の定着<br>関心・意欲・態度の高揚、思考・判断の深化、知識・理解の深化、技能・表現の工夫と創造の深化、豊かな感性の深化、課題発見と解決への態度の深化<br>(2) 個に応じた指導の展開<br>(3) 学習姿勢の定着（忘れ物をしない、家庭学習をするなど）<br>(4) 指導と評価の一体化（説明責任）<br>(5) 指導力向上（授業の工夫・改善、思考力、判断力、表現力の向上）<br>(6) 授業数確保と適正な実施（週案簿の活用 保健・和楽器・書写等）<br>(7) 放課後補充教室等<br>(8) 朝読書・朝学習の実施<br>(9) 面談、進路相談等の充実<br>(10) フィードバック、振り返り指導<br>(11) 保護者との連携（説明責任等）<br>(12) 少人数指導の実践<br>(13) 各種ボランティア導入<br>(14) 教育課程の検討<br>(15) 授業評価の実施<br>(16) 自習を出さない工夫と努力<br>(17) ICTの活用 | <input type="checkbox"/> 通年<br><br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 教師の希望日<br>校内研修<br><input type="checkbox"/> 通年<br><br><input type="checkbox"/> 通年・長期休業中<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 7、11、12月<br><input type="checkbox"/> 单元ごとなど<br><input type="checkbox"/> 日常<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 主幹・企画会議<br><input type="checkbox"/> 12月<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年 | <input type="checkbox"/> 各自<br>意識・方法・実践<br><br><input type="checkbox"/> 各教科の実践<br><input type="checkbox"/> 各教科の工夫<br><br><input type="checkbox"/> 指導計画・評価計画<br><input type="checkbox"/> 年最低1回<br><br><input type="checkbox"/> 年間計画、週案簿等<br><br><input type="checkbox"/> 学校体制<br><input type="checkbox"/> 各学年<br><input type="checkbox"/> 資料準備・確認<br><input type="checkbox"/> 各教科<br><input type="checkbox"/> 学校体制<br><input type="checkbox"/> 数学科・英語科<br><input type="checkbox"/> 管理職と各教科<br><input type="checkbox"/> 管理職より<br><input type="checkbox"/> 教務部・管理職<br><input type="checkbox"/> 教務部<br><input type="checkbox"/> 活用可能教科 |
| <input type="checkbox"/> 健全育成<br>★情報収集と迅速な対応<br>★生徒理解と保護者との連携   | 期日／期間   | 方法等  |
| (1) 生徒理解としつけ指導<br>（授業の受け方、挨拶の仕方、服装、言葉づかい、時間を守る、食べ方、   | <input type="checkbox"/> 4月   | <input type="checkbox"/> 校内研修、情報交換<br>共通実践、家庭との連携など  |

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
|   | <p>ノートを取り方、掃除の仕方など細かいことまで教える)</p> <p>(2) いじめのないクラス・学年・学校づくり (生徒の自浄力を高める)</p> <p>(3) 人権教育の推進、正義感の高揚</p> <p>(4) 道徳授業の実施と指導力向上</p> <p>(5) 報告連絡相談指導確認 ホウインソウシカ</p> <p>(6) 保護者や地域等との連携 (特に不登校生徒、問題行動のある生徒、気になる生徒)</p> <p>(7) SCとの連携、活用</p> <p>(8) 積極的生活指導の充実</p> <p>(9) 人間関係づくり エンカウンター</p> <p>(10) 相談部会の充実 (課題と対応、共通実践へ)</p> <p>(11) 部活動の充実</p> <p>(12) 特別支援教育の充実</p> <p>(13) 生徒会活動の充実 (自治力の高揚)</p> <p>(14) 関係諸機関との連携</p> | <p><input type="checkbox"/> 通年 11月<br/>いじめ撲滅宣言</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年、10月1月</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年、週1回</p> <p><input type="checkbox"/> 通年、週1回</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 週1回</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> | <p>○生徒会活動と関連づけ<br/><b>撲滅宣言の遵守と実践</b></p> <p>○教育活動全般</p> <p>○道徳研究授業と道徳授業地区公開講座</p> <p>○主任と管理職へ</p> <p>○各教師<br/>青少年育成第六地区連絡協議会</p> <p>○教育相談部会</p> <p>○生活指導部会</p> <p>○各自の研修</p> <p>○主任を中心に</p> <p>○学校体制</p> <p>○相談部会</p> <p>○各行事</p> <p>○副校長・主幹を中心</p> |
| <p><input type="checkbox"/> キャリア教育の推進</p> <p>★保護者の理解を求めて実施</p> <p>★「生きる力」と感動体験等</p> <p>★1年で職場体験</p> |   | <p>期日/期間</p>  | <p>方法等</p>  |
|   | <p>(1) 勤労観と社会貢献の気持ちを育む</p> <p>(2) 人間関係調整能力、情報活用能力、将来設計能力、意志決定能力の育成</p> <p>(3) 3年間見通した進路学習のワークシートの活用と更新</p> <p>(4) 職場体験、上級学校訪問等の充実</p> <p>(5) 適性を知る、面談・相談の充実</p> <p>(6) 掃除などの当番活動、係活動、委員会活動等の評価</p> <p>(7) 地域社会、事業所、企業等との連携</p> <p>(8) たよりの発行</p> <p>(9) 地域の人材活用</p> <p>(10) 総合的な学習の時間のPDCA</p>  | <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 1年1月</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 日常・通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p> <p><input type="checkbox"/> 通年</p>  | <p>○系統だった取り組み</p> <p>○職場訪問や体験</p> <p>○学年の計画と実施</p> <p>○学年</p> <p>○学級経営</p> <p>○各学年、情報の整理</p> <p>○学習進路部を中心に</p> <p>○管理職</p> <p>○管理職、各学年</p> <p>○学習進路部</p> <p>○管理職等</p> <p>○学習進路部</p>   |

| <input type="checkbox"/> 魅力ある、開かれた学校の推進<br>★各行事を充実<br>★小中連携、学校公開や懇談会の充実  | 期 日   | 方 策  |
|--|---|--|
| (1) 運動会、文化発表会、校内作品展、学校公開日等の充実<br>(2) 道徳授業地区公開講座<br>(3) 各種便りの充実<br>(4) 生徒の発表会等の情報提供や案内<br>(5) 進路説明会を全学年に<br>(6) 地域との連携。ボランティア活動の推奨<br>(7) P T A 運営委員会等への教職員参加<br>(8) 地域行事や学校評議員会への教職員参加<br>(9) 学校関係者評価<br>(10) H P の更新と充実<br>(11) P T A 主催行事へのバックアップ<br>(12) 隣接小学校からの本校進学 6 5 % を<br>(13) 個人情報の保護<br>(14) 地域の人材活用<br>(15) 連合行事への積極的参加<br>陸上、駅伝、ダンス、作品展<br>(16) 国際理解教育の推進<br>(17) 土曜日を公開にふさわしく | <input type="checkbox"/> 6、11、3月<br><input type="checkbox"/> 1月11日<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 年2、3回<br><input type="checkbox"/> 未定<br><input type="checkbox"/> ほぼ月1回<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 12月<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 未定<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 年8回 | ○アンケート<br>○P T A 登録制<br>○生徒の頑張りを伝える<br>○行事や総合の発表等<br>○情報提供<br>○生徒会と関連づけて<br>○運営委員会その他<br>○情報交換<br><br>○学校関係者<br>○各分掌や学年で検討<br>○校内研修分科会<br>○挨拶運動<br>○全教職員で<br>便り、成績書類等に配慮<br>○総合的な学習の時間<br>○生徒の主体性育成<br>広く呼びかけ<br>○全校で、各クラスで<br>○全校体制 |
| <input type="checkbox"/> 小中一貫教育の充実   | <input type="checkbox"/> 通年   | ○研究成果の具現化継続  |
| (1) 小学校との連携<br>(2) 研究・研修の充実<br>(3) 各教科、領域等の円滑な接続<br>(4) 思考力、判断力、表現力の育成<br>(5) 行事等の継続<br>(6) H P にも一貫連携の状況を載せる  | <input type="checkbox"/> 通年<br><input type="checkbox"/> 主に6月  | ○小学校理解<br>○小学校共同研究として<br>○校内組織の運営  |
| 長期的には、小学校の保護者の信託を受けて、生徒数確保（2学級）のできる学校をめざし、学校P Rを強化していく。  |   |  |

## 8. いじめ・体罰・自殺予防・不登校への組織的な対応

(いじめ防止対策推進教師・学校サポートスクールソーシャルワーカーの活用)

### (1) いじめ根絶にむけての指導

教職員がいじめの兆しを発見する目を養うとともに、適切に対応する力の向上を図ります。練馬区版「いじめ対応のポイント」を活用して校内でいじめに関する研修を実施するとともに、個々の生徒への指導の充実を図ります。

#### ① 定期的ないじめの実態把握とその対応

- ・年間を通して定期的にいじめに関する調査を実施し、疑いの事例も含めて状況把握に努める。対応の必要なケースについては、生活指導部を中心に対処する。また、保護者との連絡を続け長期に見守りを続ける。

#### ② 教職員の指導力の向上

- ・企画委員会や職員会議を通して生徒の実態を常に把握し共通理解を図る。
- ・スクールカウンセラーとの連携を通して生徒の実態を把握する。
- ・学校訪問相談事業での研修等を受講し、いじめへの対応力を身につける。

#### ③ 教育相談の充実（いじめ・体罰・自殺予防・不登校対応）

- ・小規模校の特色をフルに生かし、日々の声かけの励行と7月と12月の三者面談の実施を通して生徒の健全育成を推進する。
- ・スクールカウンセラーや心のふれあい相談員、支援員との連携を行う。

#### ④ 生徒の意識の向上

- ・『いじめをしない、させない、許さない』の3ない運動を生徒会活動に取り込み、いじめ撲滅宣言遵守へと導いていく。
- ・生徒会活動の柱の一つにして年間で取り組ませていく。

#### ⑤ 保護者・地域・関係機関との連携

- ・学校の取り組みを、保護者会、学校だより、ホームページ等で紹介する啓発活動を行い、広く支援を求めていく。

### (2) 体罰根絶に向けての指導の徹底

#### ① 人権教育プログラムを使った校内研修の実施

- ・服務事故の事例等も踏まえ、『体罰をしない、させない、許さない』の指導を徹底する。

#### ② 体罰や不適切な指導の未然防止

- ・生徒指導は、複数で対応することを原則とする。
- ・ひとりで抱えず、他の教員や管理職に報告・連絡・相談ができる体制を作る。

#### ③ 人権を意識した部活指導の実施

- ・指導教員や外部指導員に体罰根絶の意識を常に念頭に指導にあたるよう指導する。
- ・指導方法の研鑽や指導の在り方の話ができる職場環境を整える。

#### ④ 保護者との協力体制づくり

- ・5月の部活動保護者会の機会を利用して、管理職から体罰根絶に向けての取り組みを説明し理解と協力を求める。また、顧問からも活動の内容、指導方法について説明し理解・協力を得る。

## 9. 都費事務・区費職員へ

- (1) 限られた予算の中でコストの効率化を図り、効果的な執行を心がける
- (2) 教育内容のレベルを下げないために、様々な工夫や創造性を高める努力をする。
- (3) 都民・区民・地域住民から信頼が得られるよう、服務規律の遵守と情報開示に対応する諸帳簿の整理を進める。
- (4) 配当予算等、一部長期的展望を要するものなど計画を提示する。
- (5) 教職員の福利厚生、給与面等の情報提供をする。
- (6) いろいろな面で相談に乗ったり、配慮したりする。
- (7) 生徒の安全を最重要視し、施設設備の点検及び修繕等を迅速に進める。
- (8) チェック機能をそれぞれの部署で持つ。(執行状態の把握など)
- (9) 事務室、用務主事室の整理整頓および担当場所の整理整頓。
- (10) 環境マネジメントシステム(EMS)の推進。
- (11) 仕事への喜びを共有出来るよう、立場での意見等を反映する
- (12) 主体性をもつために Plan, Do, Check, Action を構築する
- (13) 区の監査報告等を受けて
  - ①起案から進めること。
  - ②複数の業者から見積もりをとる。
  - ③会計事故等の服務事故を起こさない。
  - ④学校徴収金管理システムを運用する。

## 10. 保護者の皆様へ

豊浜中学校は、練馬区で最も長い歴史をもち、地域に根ざして成長してきた学校です。本年度開校73年目を迎えました。様々な進学志向のため、新入生が昨年・本年とも30台となり、1・2学年が1学級編成となりました。

生徒数減少の状況にはありますが、教職員一同、生徒、保護者、地域から信頼される学校をめざし、生徒一人一人の成長を願い、努力して参りますので、ご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

本校の教育目標実現に向け、各ご家庭にお願いしたいこと。

- (1) 「基本的な生活習慣」を大事にし、心身の健康管理をお願いします。  
特に、「一日の生活リズムは朝食にあり」とも言われます。『早寝・早起き・朝ご飯』を合い言葉に、お子様に朝食をとる習慣を付けさせて下さい。
- (2) 学力定着のため、学校と連携して家庭学習の習慣を身に付けさせてください。
- (3) 保護者会や授業公開日、行事、部活動の大会など、可能な限りのご参観・応援を宜しくお願い致します。

※ お子様を真つすぐ成長させたいという願いは、保護者の皆様も私達教職員もまったく同じです。学校に対する質問等は、お子様の前で話される前に、直接、担任もしくは副校長にご相談ください。

本校は、関係機関と連携した教育活動を積極的に実践して参ります。